



講演会のお知らせ

講師：吉村 研 博士

(住友化学株式会社 筑波開発研究所 主席研究員)



有機薄膜太陽電池の開発

日時：3月3日（木）15:30 – 16:30

場所：3号館3300号室

有機薄膜太陽電池(OPV)は印刷プロセスで製造できることから、ガラスのみならずフレキシブル基板を用いることが可能である。そのため、連続プロセスでの生産が可能となるとともに軽量・柔軟などの特徴を生かした用途展開が期待されている。OPVの実用化への最大の課題は光電変換効率(以下「効率」と記載する)の向上であるが、効率はここ数年で急速に向上してきており、10%を超える数値も報告されている。

当社は、共役系高分子を用いた有機エレクトロニクスデバイスの一つとして有機薄膜太陽電池の開発を行っている。最近では吸収端波長が900nmに達する長波長吸収型の新規p型半導体ポリマーを開発することに成功している。本講演では、世界のOPV開発の動向を概観すると共に、当社で進めているOPV開発状況について述べる。

連絡先： 芳賀正明(応用化学科)・池田富樹(研究開発機構)